

# 上川地区社会科教育連盟

## 下半期の活動

根室・中標津で開催された第66回北海道社会科教育研究大会に本連盟の会員が例年よりも多く参加し、協議への積極参加と責任提案の発表をさせていただきました。

また、11月25日には、上川地区社会科教育連盟研究大会を名寄市と士別市で開催しました。午前中は士別市立士別西小学校の斎藤邦彦教諭による、5年「工業生活を支える人々」、名寄市立風連中学校の樋田総一郎教諭による1年地理「世界から見た日本の姿～災害から学ぶ～」の2本の授業を公開しました。午後からは、全体会に引き続き小学校と中学校に分かれて研究協議を行いました。今回は、助言者に北海道社会科教育連盟の兼間先生と上川教育局指導主査の佐藤潤一先生をむかえ、協議では様々な視点からの鋭いご指摘、ご意見をいただき、たいへん大きな成果をあげることができました。



また、1月13日には、冬季研修会を比布町立中央小学校で開催しました。午前中は、『授業展開七変化』と題し、同じ授業場面を複数の会員が授業をしてみせました。授業の作り方が会員によって違い、とても参考になりました。午後には、『北部地区大会総会総括』と題し、成果と課題を会員全員で共有しました。その後、25年度の全道大会を見据えて『探れ！東神楽の地域素材』を行いました。会場となる東神楽町の地域素材の概要を確認しました。これからの研究の方向性を検討し、盛会のうちに終了することができました。



冬季研修会は、資料もいっぱい！



